



◆ オランダ下院選挙は極右政党の躍進ならず

3月15日（現地時間）に行われたオランダの下院選挙（定数：150議席）の出口調査結果によると、ルッテ首相率いる与党自由民主党（VVD）が31議席を獲得、ウィルダース党首率いる自由党（PVV）の19議席を上回り、第一党となる見通しとなりました。

今回の選挙は、結果次第では今後フランスやドイツで行われる選挙を巡る世論にも影響が大きいとして注目されていました。特に、事前の世論調査では、ポピュリスト的政策を掲げ、反イスラム、反欧州連合（EU）を唱える極右政党PVVがVVDと接戦となっていると伝えられていたことから、PVVがどの程度議席数を伸ばすかが焦点となっていました。このため、今回の選挙でPVVが第一党とならなかったことは、ある程度市場の安心感につながりそうです。

今回の結果を受けてオランダでは今後連立についての協議が開始されることとなります。各党ともPVVとの連立に対しては否定的な見方を示していることから、その他の政党間で連立協議が行われることになると見られますが、VVD以外の政党の議席数には大きな差が無いこともあり、連立協議に時間を要する可能性があると考えられます。

【図表】各政党の議席数（出口調査ベース）

【図表】欧州各市場の動き（3月14日と3月15日の比較）

政党名	スタンス	議席数	
		改選前	出口調査
自由民主党 (VVD)	中道右派	40	31
自由党 (PVV)	極右派	12	19
労働党 (PvdA)	中道左派	35	9
キリスト教民主勢力 (CDA)	中道	13	19
民主66 (D66)	中道	12	19
その他		38	53

		3月14日	3月15日	変化率/ 変化幅
株式	ドイツDAX指数	11,988.79	12,009.87	0.18%
	フランスCAC指数	4,974.26	4,985.48	0.23%
	英国FTSE100指数	7,357.85	7,368.64	0.15%
	オランダアムステルダムAEX指数	510.06	511.66	0.31%
金利	ドイツ10年国債	0.445%	0.415%	-0.030%
	フランス10年国債	1.089%	1.040%	-0.049%
	英国10年国債	1.224%	1.211%	-0.013%
	オランダ10年国債	0.716%	0.665%	-0.051%
為替	ユーロ/円	122.42	121.81	-0.50%

出所：各種報道を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成
※出口調査は3月15日21時（現地時間）。

出所：Bloombergのデータを基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

【図表】各国政治イベント日程と注目ポイント

日程	注目ポイント
3月中 英国EU 離脱通知	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2016年6月の国民投票の結果を受け、3月中に英国がどのような形でEUからの離脱を通知するかが焦点。 ✓ EU単一市場へのアクセスを失う「ハードブレグジット」を選択した場合には、英国からの金融機関の流出や国内経済全般の弱体化の可能性が懸念される。
4月23日 5月7日 フランス 大統領選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4月23日が第一回投票、5月7日が決選投票。 ✓ 自国優先主義の極右政党「国民戦線」のルペン党首が中道系の独立候補マクロン氏を支持率で上回る。 ✓ ただし複数候補者にスキャンダルが相次ぐ等混迷を深めている。 ✓ ルペン氏勝利の際にはフランスのEU離脱が懸念される。
9月24日 ドイツ 連邦議会 選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 11年に渡り政権を担ってきたメルケル首相率いる保守系与党連合「キリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）」とシュルツ氏率いる中道左派「社会民主党（SPD）」の支持率が拮抗している状態。 ✓ メルケル政権が財政均衡を掲げるのに対しシュルツ氏は投資拡大を優先。 ✓ ただしフランス等に比べ、政権交代が起きてもポピュリズムが台頭するような状況は免れるものと予想。

出所：各種資料を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成
※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

■ レポートの作成・配信は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

EURO EXPRESS

臨時レポート



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
 - 換金（解約）時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
 - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
 - その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
- 投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会